



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

3月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤 尚子

大きくなるっていうことは…

毎年思うことですが、新しい年を迎えるとあっという間に3月の、修了・進級を迎える時期になります。今年はすでに春一番も吹き、春がすぐそこまで来ているように感じます。

この時期に子どもたちによく読んだ本に「おおきくなるっていうことは」(中川ひろたか・文村上康成・絵 童心社)という絵本があります。大きくなるということの具体例がいくつも書いてあるのですが、その中で私が気に入っているのが『おおきくなるっていうことは まえよりたかいところにのぼれるってこと』『～たかいところからとびおりられるってこと』『それもそうだけど とびおりてもだいじょうぶかどうか かんがえられるってことも おおきくなるっていうこと』というところです。挑戦しながら自分の今を知り、状況判断の力を付けて実行していくのが「大きくなる」ということなのではないかと思えます。

5歳児は2月終わりに王子小学校の5年生と最後の交流をしました。回を重ねてきたので、久しぶりに顔を合わせた5年生に、短時間のうちに安心や親しみの表情を見せていました。5年生には甘える様子も見られましたが、初めて見せてもらった1年生の教室では、学習の様子を真剣に見る姿がありました。状況に応じた行動がとれるのも「おおきくなったから」の姿だと感じました。この日は雨で、傘を差しての行き来となりました。1列で歩くことになるので長い列になりましたが、道の端に寄ってなるべく詰めて歩く様子や、風が吹いて寒くなってきても「寒い～」と言いながらもしっかりと傘を持ち、歩く様子に子どもたちの成長を感じました。

今年度、3歳児がいなくなり、4歳児が「大きくなった」と感じる場面をなかなかつくれませんでした。そのような中での近隣保育園との交流は、自分より年下の子どもの遊ぶ様子に触れる貴重な機会となりました。先ほどの絵本には『おおきくなるっていうことは じぶんよりちいさなひとが おおくなるってこと』というものもあります。自分より年下の子どもにも目を向け、人に優しくなれる自分のよさを知り、大きくなることを楽しみにし、うれしいと思う気持ちを膨らませていってほしいと願っています。

先生たちは、さくらだこども園の子どもたちが大きくなったのをうれしく思っています。

今年度も、保護者、地域の皆様にご理解と多くのご協力をいただき、教育保育活動を進めていくことができました。ありがとうございます。これからも地域の子どものために温かく見守っていただきますよう、お願い致します。

—今月の指導のめあて—

- 〈4歳児〉
 - ・友達と部分的にイメージを共有しながら遊ぶ中で、自分の思いを言葉で表し、相手の思いに気持ちを向ける。
 - ・年長になることへ期待をもち、自分の身の回りのことや学級での活動に進んで取り組もうとする。
- 〈5歳児〉
 - ・自分たちの成長を感じ、就学を楽しみにしながら、自信をもって行動する。
 - ・友達と互いのよさを認め合い、一緒に遊びや生活を進める。

